

県中学校 総合体育大会

第8日

頂点に立った。ハンドボール男子は八万が2年連続4度目、女子は鳴門一が2年ぶり5度目の栄冠を獲得した。軟式野球の決勝は24日に順延された。第9日の23日は4競技が行われる。

第73回徳島県中学校総合体育大会(県中体連、県教委、徳島新聞社主催)第8日は22日、徳島市などで4競技が行われ、2競技で団体優勝校が決まった。新体操女子は生光学園が4年連続9度目の

生光学園 4連覇



女子団体が華麗な演技を披露し優勝した生光学園の選手(鳴門アミノバリエール) (家政良匡撮影)

新体操
【女子】団体①生光学園(林
鳴門アミノバリエール)

後藤、飯田、尾崎、西岡) 11・90
点②羽ノ浦9・30点③小松島6・
70点④南部4・05点
▽個人総合①賀出倫美(富岡
東28・85点②林(生光学園) 26

④高見(鴨島) 23・00点⑤宮本
(生光学園) 22・05点⑥岡(羽ノ
浦) 21・30点▽種目別 クラブ①

③今津(鳴門) 12・85点
▽ボール①賀出倫美(富岡東) 15
・15点②林(生光学園) 14・30点

③今津(鳴門) 12・85点
10・95点③岡(羽ノ浦) 10・95点

流れるリボン 5人躍動

淡いグリーンを基調としたあでやかな衣装に身を包んだ5人が躍動した。女子団体が4連覇を果たした生光学園。小さなミスはありながらも、目標とする全中に向けて第1段階の具総体をクリアし、選手たちはほっとした様子だった。

シャンソン風の曲調に合わせて伸び伸びと演じた。それぞれが操る長いリボンが体の動きに合わせて流れるように動く。リボンを高く投げ上げる場面ではキャッチできない失敗もあったが、大崩れはしなかった。チームを引っ張る3年生の後藤は「不安や緊張もあったけど、最後まで笑顔で演じ切れた」と振り返る。

昨秋の県新人大会後から練習を積んできたフログラム。林主将は「完成度は上がった」と手応えを口にす。一方、ミスの多さを課題に挙げる。この日の得点も6月の徳島市総体で出した13・20点より低い11点台にとどまり「満足はできない」と表情は硬かった。上位2校に全中の出場権が与えられる四国総体は約10日後。林主将は「一つ一つの技の完成度を高め、減点をなくしていきたい」ときりりとした表情で話した。(石津遼)